

LA カップリングシリーズ



コマ印管継手

グリップ LA

日本水道協会品質認証センター 認証登録品 登録番号：G-649

日本消防設備安全センター 型式認定品 認定番号：PJ-052



RIKEN



管を切断するだけで接合可能なLAカップリングにグリップタイプが仲間入り！



(標準品、消防認定品)

ロックリングによる離脱防止機能を保有するタイプ



離脱防止機能を保有しないタイプ



応急補修用のヒンジタイプ

◆ 適用範囲

- 1) 用途：給水・冷温水・冷却水
- 2) 適用水質：水道水水質基準（厚生労働省）
- 3) 適用温度：-30～60℃（但し、飲料用途の場合は40℃以下でご使用ください。）
- 4) 適用管と最高使用圧力

適用管	GR-LA		FX-LA	CH-LA
	標準品 ^{注1)}	消防認定品	標準品 ^{注1)}	標準品 ^{注1)}
水配管用亜鉛めっき鋼管 (SGPW)	1.6 MPa	2.0 MPa	1.0 MPa	1.0 MPa
配管用炭素鋼鋼管 (SGP)				
圧力配管用炭素鋼鋼管 (STPG)	1.6 MPa	—	1.0 MPa	1.0 MPa
一般配管用ステンレス鋼鋼管 (TPD)	1.6 MPa	—	1.0 MPa	1.0 MPa
配管用ステンレス鋼鋼管 (TP)	1.0 MPa	—	1.0 MPa	1.0 MPa
硬質塩化ビニル管 (VP)	0.75 MPa	—	0.75 MPa	0.75 MPa
水道用硬質塩化ビニル管 (VP および HIVP)				

注1) 標準品は、日本水道協会 認証登録品です。

注2) 異種管接続については、必ずお問い合わせください。

◆ グリップLAの特長

- ⊕ トルクレンチ1本で施工可能
- ⊕ ぼうず管にそのまま接合可能
- ⊕ 狭いスペースでも施工可能
- ⊕ 配管の補修・改修に最適



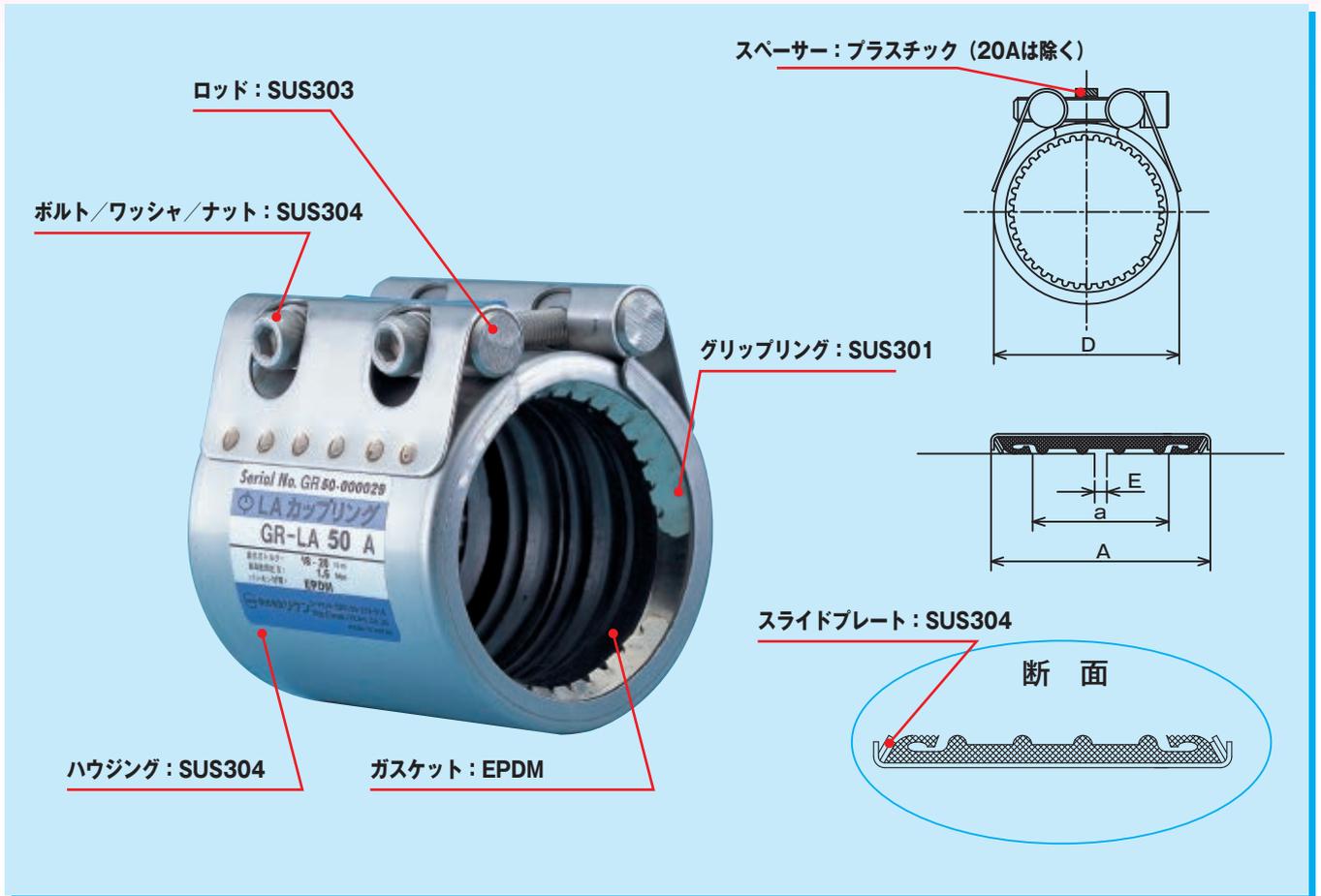
各種 LA カップリング

※LAカップリングのグリップ型となります。



標準品

ロックリングによる離脱防止機能を保有するタイプ



GR-LAの寸法およびアイテム

継手の呼び径	適応管種			ハウジング				ボルト		
	鋼管 (A)	SUS管 (Su)	VP管	外径 D	幅 A	リップ間距離 a	管端隙間 E	呼び	六角穴サイズ	標準締付トルク
20A	20	25	-	43	60	28	4	M8	6	8~10N・m
25A	25	30	-	53	60	28	4	M8	6	8~10N・m
32A	32	40	-	60	60	28	4	M8	6	15~17N・m
40A	40	50	40	66	60	28	4	M8	6	15~17N・m
50A	50	60	50	81	80	44	4	M8	6	18~20N・m
65A	65	75	65	101	111	68	5	M12	10	45~50N・m
80A	80	80	80	117	111	59	5	M12	10	45~50N・m
100A	100	100	100	142	111	59	5	M12	10	45~50N・m
125A	125	125	125	172	113	59	7	M12	10	80~85N・m
150A	150	150	150	197	113	59	7	M12	10	80~85N・m
200A	200	200	200	252	152	87	6	M14	12	140~150N・m

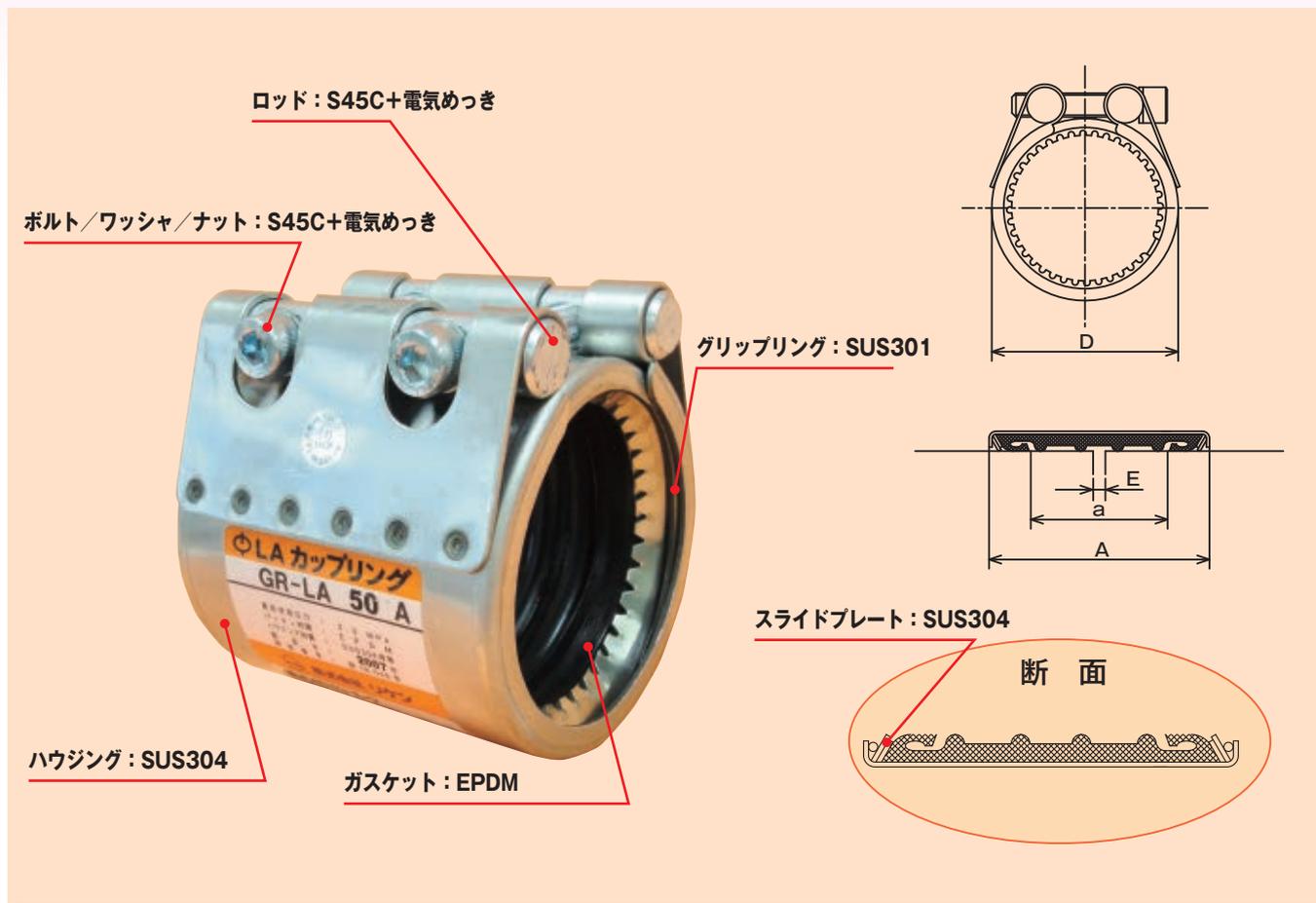
注意

- 冷温水配管等の管の熱伸縮が生じる場合には、別途伸縮継手を用いてください。漏水や脱管等の原因となります。
- 塩ビ管の呼び 20 (Φ 26.0)、25 (Φ 32.0)、30 (Φ 38.0) は、対応できません。
- ボルトの締め付けには必ずトルクレンチを用いて、規定のトルク値にて締め付けを行ってください。漏水や脱管、及びボルトの破断等の原因となります。



消防認定品

ロックリングによる離脱防止機能を保有するタイプ



GR-LAの寸法およびアイテム

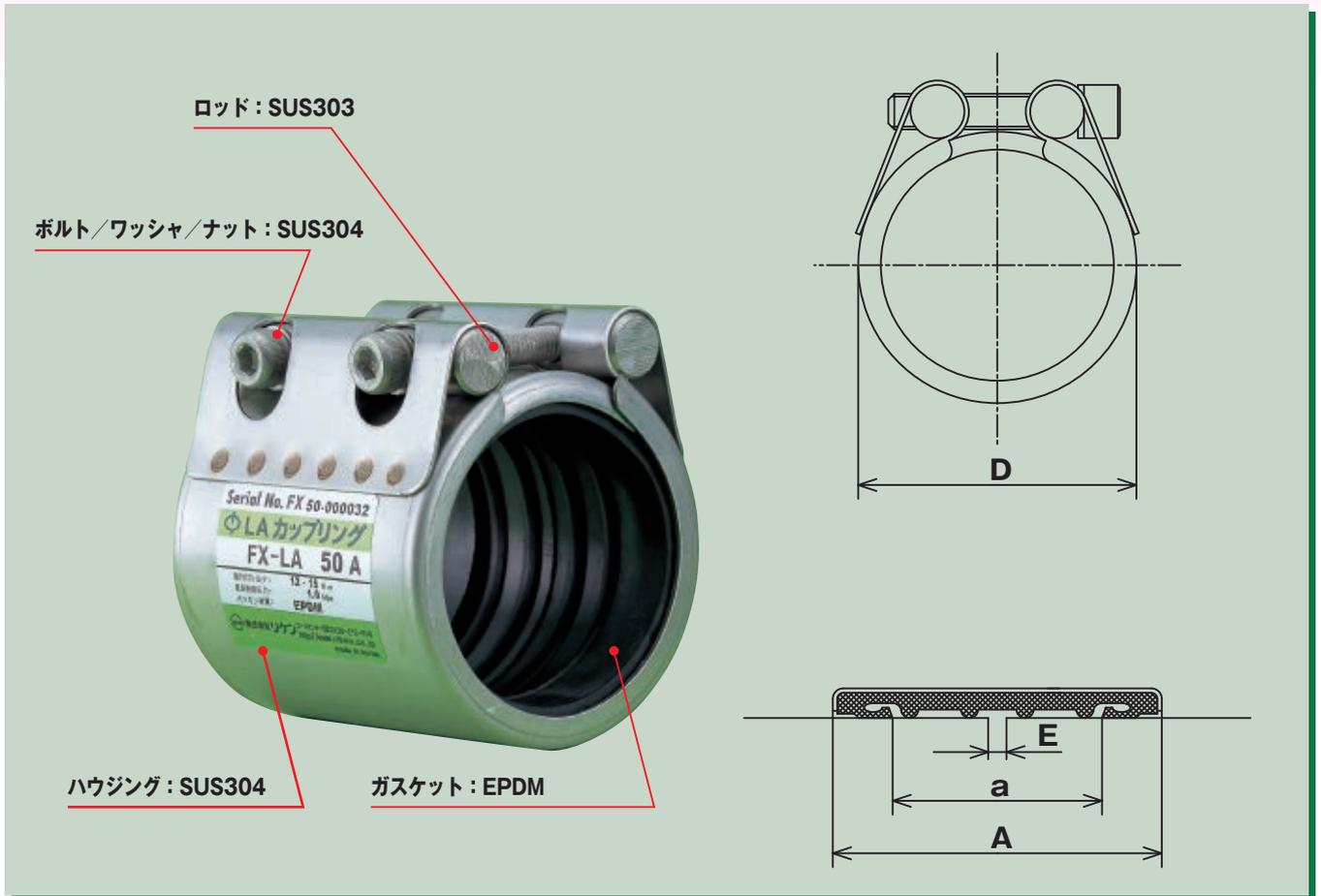
継手の呼び径	適応管種 鋼管 (A)	ハウジング				ボルト		
		外径 D	幅 A	リップ間距離 a	管端隙間 E	呼び	六角穴サイズ	標準締め付トルク
50A	50	81	81	44	5	M8	6	30~35N・m
65A	65	103	112	65	6	M12	10	50~55N・m
80A	80	117	112	58	6	M12	10	50~55N・m
100A	100	144	112	58	6	M12	10	50~55N・m

注意

- ボルトの締め付けには必ずトルクレンチを用いて、規定のトルク値にて締め付けを行ってください。漏水や脱管、及びボルトの破断等の原因となります。
- 湿式配管のみ使用できます。



離脱防止機能を保有しない タイプ



FX-LAの寸法およびアイテム

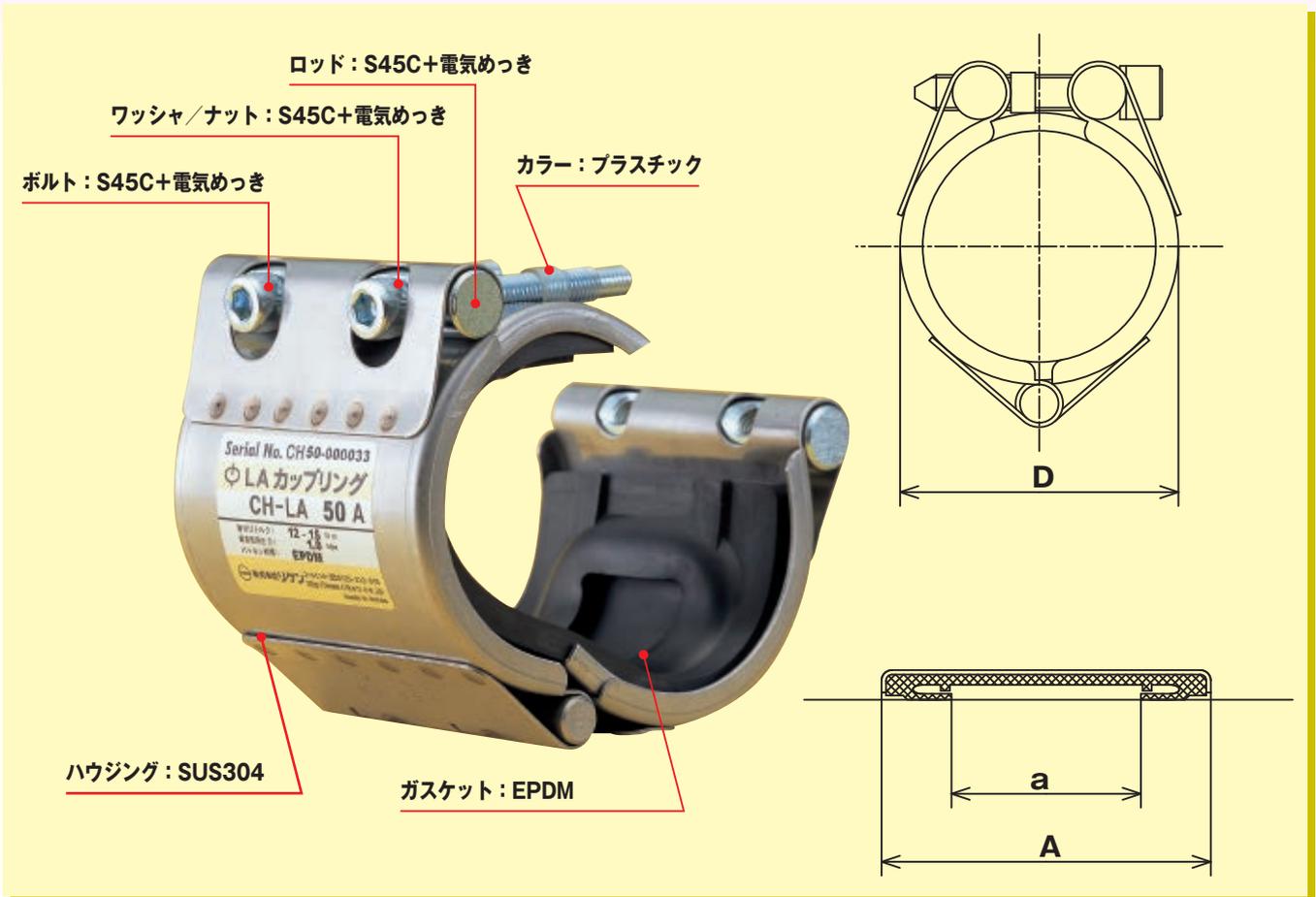
継手の 呼び径	適応管種			ハウジング				ボルト		
	鋼管 (A)	SUS管 (Su)	VP管	外径 D	幅 A	リップ間距離 a	管端隙間 E	呼び	六角穴 サイズ	標準締付トルク
32A	32	40	—	60	60	28	4	M8	6	7~10N・m
40A	40	50	40	65	60	28	4	M8	6	7~10N・m
50A	50	60	50	81	80	44	4	M8	6	12~15N・m
65A	65	75	65	97	111	44	5	M12	10	12~15N・m
80A	80	80	80	115	111	59	5	M12	10	15~20N・m
100A	100	100	100	140	111	59	5	M12	10	15~20N・m
125A	125	125	125	171	111	59	5	M12	10	25~30N・m
150A	150	150	150	197	111	59	5	M12	10	25~30N・m
200A	200	200	200	248	150	87	4	M14	12	35~40N・m

注意

- 冷温水配管等の管の熱伸縮が生じる場合には、別途伸縮継手を用いてください。漏水や脱管等の原因となります。
- 塩ビ管の呼び 30 (φ 38.0) は、対応できません。
- ボルトの締め付けには必ずトルクレンチを用いて、規定のトルク値にて締め付けを行ってください。漏水や脱管、及びボルトの破断等の原因となります。
- FX-LA は、管の離脱防止機能を有していません。必ず管の固定を行ってください。漏水や脱管等の原因となります。



応急補修用のヒンジタイプ



CH-LAの寸法およびアイテム

継手の呼び径	適応管種			ハウジング			ボルト		
	鋼管 (A)	SUS管 (Su)	VP管	外径 D	幅 A	リップ間距離 a	呼び	六角穴サイズ	標準締付トルク
32A	32	40	—	61	60	22	M6	4	7~10N・m
40A	40	50	40	66	60	22	M6	4	7~10N・m
50A	50	60	50	80	80	32	M8	6	12~15N・m
65A	65	75	65	92	80	32	M8	6	12~15N・m
80A	80	80	80	115	110	50	M12	10	15~20N・m
100A	100	100	100	138	110	50	M12	10	15~20N・m
125A	125	125	125	168	111	50	M12	10	25~30N・m
150A	150	150	150	194	111	50	M12	10	25~30N・m
200A	200	200	200	255	150	85	M14	12	35~40N・m



- 塩ビ管の呼び 30 (φ 38.0) は、対応できません。
- ボルトの締め付けには必ずトルクレンチを用いて、規定のトルク値にて締め付けを行ってください。漏水や脱管、及びボルトの破断等の原因となります。

安全に関する注意事項



腐食、亀裂、漏洩による損害を回避するため

- 本カタログの1ページに記載された「適用範囲」以外の使用条件、使用環境では使用できません。
- 施工前に必ず、別冊の施工要領書をお読みになってから施工を行ってください。

免責事項

誤った使用方法、施工上の不具合、取り扱い上の不注意や風水害、地震、雷などの天災、および火災、公害（特殊環境）、塩害、戦争、テロなどの不可抗力、その他、当社の責任と認められない損害には、当社は一切責任を負いません。

通知事項

- ・ 性能等の詳細につきましては、別途「性能試験報告書」を用意しております。
ご入用の際は、本カタログ裏面に記載の「問合せ先」まで、お申し付けください。
- ・ 本カタログの掲載内容は、2023年1月現在のものです。
- ・ 本カタログに掲載の商品は、仕様、外観などを予告なく変更することがあります。
- ・ 本カタログに掲載してある商品の色は、印刷の関係上、実際と若干異なる場合があります。
- ・ 本カタログの掲載内容は、全て当社に著作権の存するものです。無断の複製は固くお断りします。

*カタログに記載している製品の仕様や外観などについては製品改良などのために予告無く変更する事があります。

RIKEN 株式会社 **リケン**

配管コールセンター
配管のお問い合わせ先は下記へおねがいます。

0120-212-016

携帯電話、PHSからは …… (0766)25-0421 FAX (0766)25-0433

本社:〒102-8202 東京都千代田区三番町8-1
TEL (03)3230-3920 FAX (03)3230-3432

札幌 ☎(011)865-1919 仙台 ☎(022)773-8825 名古屋 ☎(052)201-8681
大阪 ☎(06)4706-6768 福岡 ☎(092)287-9582

